

4年次

消化管・腹膜Ⅱ

【gastrointestinal surgeryⅡ】

担当責任者 教授（第1外科学） 平田 敬治

ねらい

主要な消化管（口腔は除き肛門を含む）疾患や腹部疾患を系統的に学習する。それぞれの疫学・病因・病態生理・症候・検査所見・診断・治療・予後について学習し、臨床応用のための基礎的知識を身につける。消化器病の予防や診療に際し、自ら考え問題解決できるようにトレーニングを行う。

学修目標

1. 消化管や腹壁・後腹膜の診療に必要な解剖・生理について述べることができる。
2. 各々の疾患の原因・疫学について述べることができる。
3. 消化管検査各種について説明できる。
4. 各疾患の診断・治療・予防を理解し、説明できる。
5. 消化管の各症候から、診断・治療などの計画を立てることができる。

事前事後学習の方法

1. シラバスの記載項目について、事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義のテキスト、スライド内容ともに講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

100点満点で60点以上が合格。

成績は、各担当講座の成績を総合的に判断する。

○ 教科書

〈第3内科学〉

杉本恒明、矢崎義雄編 「内科学」第10版 2013年 朝倉書店

〈第1外科学〉

畠山勝義 監修 「標準外科学」第14版 2016年 医学書院

武藤徹一郎ほか 監修 「新臨床外科学」第4版 2006年 医学書院

○ 参考書

〈第3内科学〉

福井次矢、黒川清 監修「ハリソン内科学」第4版（全2巻） 2013年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

第3内科学

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
			食道疾患	D	7	1,4	芳川 一郎
			胃食道静脈瘤	"	"	4	久米 恵一郎
			胃癌	"	"	"	芳川 一郎
			消化管ポリポーシス	"	"	"	渡邊 龍之
			大腸癌	"	"	"	芳川 一郎
			炎症性腸疾患	"	"	"	久米 恵一郎
			小腸・腹膜疾患	"	"	"	久米井 伸介
			その他の腸の炎症性疾患	"	"	"	久米 恵一郎

第1外科学

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
			消化器総論と診断法	D	7	4	平田 敬治
			肛門とヘルニア	"	"	"	中山 善文(学外)
			胃・十二指腸疾患	"	"	"	柴尾 和徳
			内分泌外科	"	12	"	井上 譲
			小腸・イレウス	"	7	"	鳥越 貴行
			急性腹症	"	"	"	永田 直幹(学外)
			食道(悪性疾患)	"	"	"	日暮 愛一郎(学外)
			大腸良性疾患	"	"	"	中山 善文(学外)
			大腸悪性疾患	"	"	"	平田 敬治
			食道(良性疾患)	"	"	"	柴尾 和徳